

平成26年度に建設工事で発生した事件事例（落下物・飛来物による事故）

事故概要：

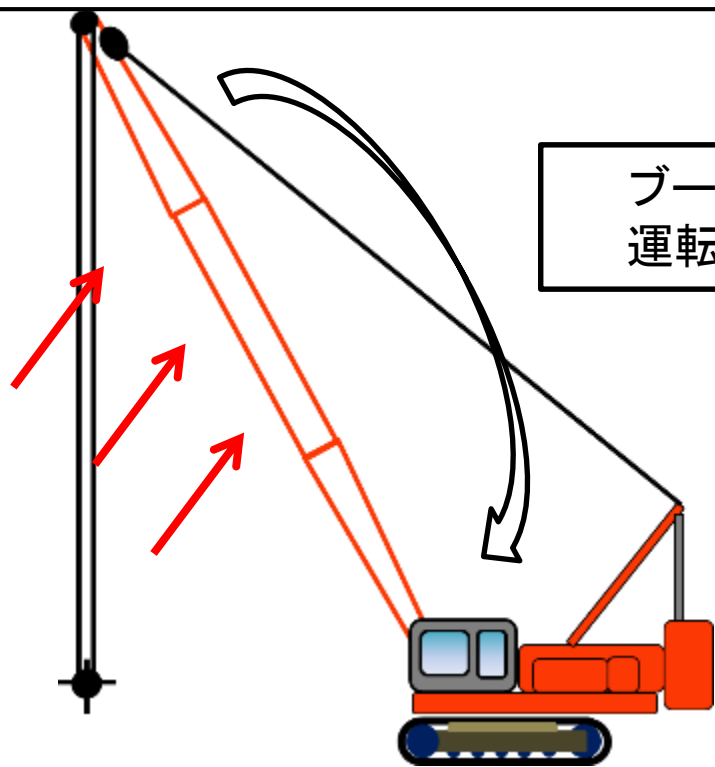
仮設構台上にて掘削用機材を荷下ろしするため、クローラークレーン（150t吊）のブームを起伏旋回させたところ、ブームより落下した雪がクレーンキャビン上方及び前方のガラスを突き破り、オペレーターの頭上に落下し負傷した（ブームの除雪をクレーンの旋回および起伏による振動で行っていた）

事故原因：

- ・除雪が不完全な状態だった
- ・完了確認をオペレーター1人で行った

改善対策：

- ・除雪は水平に近い状態で除雪し、起伏・旋回時は監視員を設置する
- ・除雪を始業前点検に加え、2名で点検する



分類：準備工、クレーン運転

被害状況：2週間の加療（頸椎捻挫）

平成27年度に建設工事で発生した事故事例（架空線損傷事故）

事故概要:

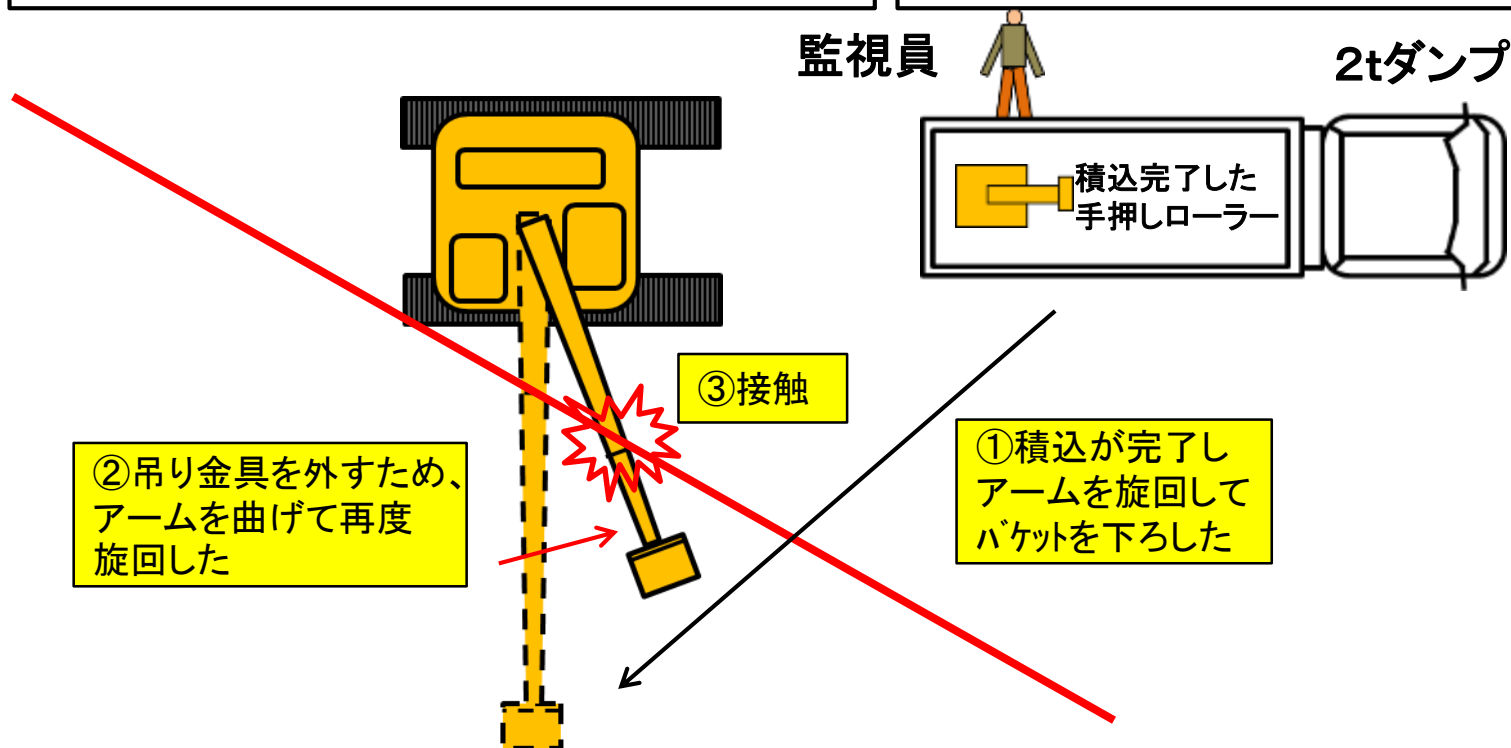
手押しローラー(500kg)をクレーン付きバックホウ(0.7m³)にてダンプ(2t)に積込後、バックホウを旋回してバケットを下ろしたところ、吊り下げ用の金具が外れていないことに気づき、吊り金具を外すため、アームを曲げて監視員がいるローラーの箇所へ再度アームを旋回させたところ、架空線に接触し損傷させた

事故原因:

- ・架空線下で作業を行った
- ・重機オペは吊り金具を外してもらうことに注意がそれてしまった
- ・監視員は作業が終了したため目を離してしまった

改善対策:

- ・架空線下での作業を回避する
- ・安全教育の徹底
- ・架空線等上空施設の事故防止マニュアル(案)の徹底



分類: 準備工、クレーン運転

被害状況: 防護カバー・ケーブル外皮、コイル部分を損傷。通信に支障なし